

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月 7日更新

事務事業名	児童館運営事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	2 福祉の健康	所属部	健康福祉部	課長名 衛藤 文明
	施策	4 子育て支援の充実	所属課	子育て支援課	担当者名 中島 仁
	施策の柱	17 地域における子育て支援	所属班	子ども家庭班	(内線) 1185
予算科目	会計 一般	款 3 項 2 目 4 事業連番 10588	根拠 法令	合志市児童館条例、合志市児童館条例施行規則	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	児童の健全な遊びの提供、集团的・個人的指導、児童館母親クラブの育成などの児童館事業(教室、イベント等)を実施している。人件費においては、市直営児童館(東、泉ヶ丘市民センター)に5名の児童厚生員を任用している。 本市の児童館は、児童福祉法第40条に規定する児童厚生施設の一つとして昭和61年4月に東児童館が開館し、続いて平成9年12月に泉ヶ丘市民センター児童館が、平成14年6月に西児童館が開館した。 なお、西児童館はふれあい館の一部に属し、運営については、市社会福祉協議会に事業運営を委託している。 現在では、子どもを取り巻く環境の悪化による子どもの遊べる場の確保及び親同士の交流を深める場として児童館の更なる推進を図っていくことが必要としている。 ※令和元年度末より新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減っている。
【業務の流れ】	○直営館(東児童館、泉ヶ丘市民センター児童館) ①日々の施設管理、安全管理 ②来館児童や親子への健全な遊び、交流 機会の提供(親子教室、相談活動、自然体験活動、非難・消火訓練、児童館まつりなどの行事開催) ○委託館(西児童館※ふれあい館内) ①事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約伺い ⑤支出負担 行為 ⑥実績報告書・請求書受付 及び審査 ⑦支出命令
【主な予算費目】	報酬、報償費、費用弁償、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費、負担金補助及び補助金
【意見や要望】	児童館運営委員会会議において、子育て支援との地域拠点、異年齢・異世代交流や児童虐待の早期発見など、児童館の役割の必要性が益々高まっているとの意見があった。 平成28年8月1日事務事業検証会において、児童館運営事業及び児童館母親クラブ活動支援事業が上げられた結果、前事業は「市実施(改善)」、後事業は「市実施(現状)」と判定された。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
東児童館、泉ヶ丘市民センター児童館、西児童館の児童館事業により、児童の健全育成、集团的指導等を行った。また、各児童館の母親クラブ地域活動の育成、支援を行った。新型コロナウイルス感染症拡大により利用者が減少していたが、若干の回復がみられた。	児童館事業により、児童の健全育成や集团的指導を行う。また、児童館を中心に活動している母親クラブに対し活動支援を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 児童館数	館 西児童館デッキ改修のため工事請負費の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
18歳未満の児童とその保護者、地域活動組織(母親クラブ)	(単位) → ア: 18歳以下の児童 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
児童を健全に育成できる。地域活動組織の育成ができる。	(単位) → ア: 児童館の利用者数 人 イ: 児童館数 館
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠	
本事業は、児童館運営そのものの事業であるので、児童館利用者数とした	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	31年度 実績(決算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	5年度 予定	6年度 見込	7年度 見込	
① 活動指標	ア 館 イ	3	3	3	3	3	3	3	3	
② 対象指標	ア 人 イ	14,287	14,492	14,200	14,636	14,200	14,200	14,200	14,200	
③ 成果指標	ア 人 イ 館	37,382 3	12,351 3	44,000 3	16,111 3	44,000 3	44,000 3	44,000 3	44,000 3	
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人 件 費	一般財源	千円	15,740	16,037	17,345	16,045	18,550	17,845	18,095
		(A) 事業費計	千円	15,740	16,037	17,345	16,045	18,550	17,845	18,095
		(A)のうち指定経費	千円	8,451	0	0	0	0	9,715	9,715
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	4	2	4	4	4
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	800	900	730	800	730	730	730	
	(B)人件費計	千円	3,170	3,548	2,908	3,128	2,908	2,908	2,908	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	18,910	19,585	20,253	19,173	21,458	20,753	21,003	

